2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	高次脳機能・病態運動生理学特論Ⅱ	平岡 崇

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2	選択	2	平岡 崇

目的

機能障害の診断・治療に関する臨床・研究についての体系的な知識を得て、その研究の計画・運用についての基礎作りをするために、中枢神経系・末梢神経系・筋骨格系・呼吸循環器系の疾患ならびに障害に関する英文論文から学ぶことのできるリハビリテーション医学領域の知識 ならびに それに関連する基礎的医療知識を修得する。

授業到達目標

（1）神経系・運動器系の疾患に関する診断・評価・治療、あるいは神経心理学・生理学・解剖学・病態生理学に関連する英文誌の内容を的確に説明することができる。
（2）情報を取得して知識を高めることにより、他者の発表に対して積極的に質問やコメントを行うことができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	奇数週	火	8:00-9:00	平岡 崇	講義	[抄読会]	中枢神経系・末梢神経系・筋骨格系・呼吸循環器系の疾患ならびに障害に関して他の医師が発表した英文論文内容に対して質問し意見を述べる。 [場所:本館棟５階カンファレンス室４]
2	偶数週	火	8:00-9:00	平岡 崇	講義	[抄読会]	自ら中枢神経系・末梢神経系・筋骨格系・呼吸循環器系の疾患ならびに障害に関する英文論文文献を熟読し、その要約を紹介する。質問に対して的確に答える。 [場所:本館棟５階カンファレンス室４]

上記の時間以外にも積極的に最新論文を熟読し指導医と議論を行う。

評価方法

（1） 1年間※で 30 時間出席し、 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい提出する。
（2） 1年間※で論文紹介または症例発表を２回行い、その要約２編を提出する。
ただし特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文 （症例）であること。
※２月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

要約につき討論し添削指導を行う。

教科書

ISBN-9784307750523, 現代リハビリテーション医学（改訂版第４版）, 千野 直一(監修), 金原出版, 2017
ISBN-9784260050418, 標準リハビリテーション医学, 佐伯覚, 高岡徹, 藤谷順子編集, 医学書院, 2023

参考書

ISBN-9784263217306, 最新リハビリテーション医学（第３版）, 江藤　文夫・里宇　明元（監修）, 医歯薬出版, 2016
ISBN-9784260034609, リハビリテーション医学・医療コアテキスト, 久保俊一総編集 ； 加藤真介, 角田亘編集 ； 安保雅博 [ほか] section editor ； 徳永大作イラスト作画・編集, 医学書院, 2018

準備学習（予習・復習等）

（1）文献を熟読し、要領よく内容を説明できるよう準備する。英語能力により準備時間は異なるが、少なくとも準備学習を１時間以上行う。
（2）必要な参考文献も収集し内容を説明できるように準備する。
（3）発表後に質問や指摘事項もふまえて要約を作成する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し、仮説立脚・検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

２回の論文紹介は最低限であって教室員と同程度の発表（隔週の紹介）が好ましい。